

第三 現時の中屋村

【中屋村】

明治三十年四月郡町村廢置処分合に際し、元の松本、上中屋、大佐野、下中屋、成清、神置の六ヶ村併合して現時の中屋村となりしこと前章の述べたるが如し。

面積と廣袤

中屋村の面積は〇、三〇一方里四百六十八町七反歩にして、羽島郡十八ヶ町村中第七位を占む。東西一里二十四町三間、南北十町六間に亘る。

地勢

山地に隣れるも土地平坦にして、海拔凡十五メートル乃至二十メートルなり。砂質壤土にして概ね瘠地表土薄くして礫土を露出せる所少しとせず。

戸口

最近十ヶ年間に於ける年平均戸口の増加は、戸数に於て二、二戸。現住人口に於て十五、五人なり。

昭和二年十二月末現在左の如し。

本籍人口 三千六百九十八人

現住人口 三千二十一人

内 男 一千四百五十九人

女 一千五百六十二人

現住戸数

五百三十五戸

産業

工業地（機業）と稱し得べし。五百三十五戸中二百三十戸は實に之なり。農業之に次ぎ百二十七戸を算すると雖も尚副業として、機業に従事する者尠しとせず。

生産高を見るに織物（絹織物にして紋羽二重、繪絹、搥瀨等）年産二百餘萬圓を出す。就中繪絹は特産物にして全國に其の販路を有し一頭地を抜くものなり。農産物は昭和二年度にありては十萬圓近くの收穫を得たるの現状なり。

【役場】

明治初年にありては各村に戸長役場を設けられしが同十七年

十月に至り六ヶ村組合の聯合役場下中屋村に設けられしが、
後同二十五年一月大佐野村に移る。
同三十年四月中屋村となるや大佐野に中屋村役場を設けた
り。後大正八年敬格小學校の東南の一角に新築なるや茲に移
る。地下中屋に屬し現役場是れなり。